

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和46年度～			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	16 火葬場・墓地
事務事業名			01 斎場維持管理事業
根拠法令・例規等			備前市葬儀条例及び規則 日生町営斎場及び葬祭事業に関する条例及び規則
担当課(室)			環境課
職・氏名			衛生係長・森和成
電話			64-1821

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	祭壇・霊柩車・斎場を利用するすべての市民(祭壇・霊柩車については備前地域のみ) 斎場を利用する市外の利用者
目的(何のために)	適正な火葬及び祭壇業務の執行。
行政活動(どのような方法で)	適正に火葬を執行するために斎場・霊柩車等の維持管理を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	葬儀を執行するにあたり、火葬炉施設の故障や職員の対応等により、利用者に不快感を与えない。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	火葬執行数	件	405	488	464
実績	①備前斎場火葬執行数	件	341	415	405
	②日生斎場火葬執行数	件	64	73	59
	祭壇業務数(備前地域のみ)	件	33	36	19
	霊柩車運行数(備前地域のみ)	件	12	15	10
事業費	直接事業費	千円	29,310	26,237	23,123
	必要人員人件費	千円	2,700	2,470	12,049
業績	事業費	千円	45,555	40,813	35,172
	国・県・市・道・支・出・金	千円			
	受・益・者・負・担・金	千円	6,844	8,024	7,272
	繰・上・入・金	千円			
	そ・の・他・(・)・源	千円			
一		38,711	32,789	27,900	
受・益・者・負・担・比・率	%	15.0%	19.7%	20.7%	

結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	①備前斎場火葬執行数	件	341	415	405
結果指標② <td>②日生斎場火葬執行数</td> <td>件</td> <td>64</td> <td>73</td> <td>59</td>	②日生斎場火葬執行数	件	64	73	59
	対前年比%		121.7%	114.1%	80.8%
結果指標③ <td>活動コスト</td> <td>円</td> <td>29,967,000</td> <td>26,554,000</td> <td>24,946,000</td>	活動コスト	円	29,967,000	26,554,000	24,946,000
	単位当たりコスト	円	87,880	63,986	61,595
結果指標④ <td>活動コスト</td> <td>円</td> <td>13,248,000</td> <td>12,111,000</td> <td>10,192,000</td>	活動コスト	円	13,248,000	12,111,000	10,192,000
	単位当たりコスト	円	207,000	165,904	172,746

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
火葬執行業務は、成果指標となる判断基準がないため。	目標値(A)				斎場運営コストの削減
	実績値(B)	3,270	2,931	2,476	到達目標年度
達成率(B/A)					
成果指標設定の考え方・式や説明					
事業費/世帯数(吉永地域を除く)					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりのコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	火葬執行については、関係法令等に基づき適正で効率的に処理している。
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	判定理由・課題認識
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>
			判定理由・課題認識

平成21年度の状況		結果指標量①		結果指標量②		成果指標量	
目標値	405	59	2,476				
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	必要不可欠施設のため。						

総合評価		評価区分<A~E>
施設の老朽化等により、施設の維持費は年々増加していくと思われる。現状では、コストの削減は難しい。祭壇業務については民間に同一のサービスがあるため廃止もしくは業務の縮小が必要である。備前斎場と日生斎場とで、使用料が異なるため統一する必要がある。		妥当性 有効性 効率性 B

平成22年度以降の方向性・内容		結果指標量①		結果指標量②		成果指標量	
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	必要不可欠施設のため。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			
効率性	祭壇業務の見直しについての検討	H20年度~	人員配置の改善				
効率性	使用料の見直し	H20年度~	備前斎場と日生斎場の使用料を統一し、地域間格差をなくす。				